

[8] えびの市小学校体育連盟  
(学校数 5校 児童数 906人)

I 年間事業

期 日	曜	内 容	会場
5月19日	金	・役員選出 ・年間活動計画検討 ・研究計画	真幸小学校
6月19日	月	・水泳大会打合せ ・研究内容検討	真幸小学校
7月25日	火	・水泳大会前日準備	飯野小学校
7月26日	水	・水泳大会 ・水泳大会反省	飯野小学校
8月23日	水	・陸上大会計画 ・研究推進	真幸小学校
10月10日	火	・陸上大会計画 ・研究推進	真幸小学校
10月23日	月	・陸上大会前日準備	飯野小学校
10月24日	火	・陸上大会 ・陸上大会反省	飯野小学校
11月28日	火	・研究推進	真幸小学校
1月5日	金	・研究収録準備	真幸小学校
2月下旬		・年間活動のまとめ ・次年度の方向性について	真幸小学校

II 事業部のあゆみ

1 水泳大会

- (1) 大会名 平成29年度えびの市小学校体育連盟水泳大会  
 (2) 実施日 平成29年7月26日(水)  
 (3) 会場 えびの市立飯野小学校プール  
 (4) 出場者 えびの市内小学校(5校) 5・6年生選抜選手  
 (5) 実施種目 ※すべての種目「飛び込みなし」

5年	6年
25m自由形	25・50m自由形
25m平泳ぎ	25・50m平泳ぎ
学級対抗100mリレー	6年男子100mリレー
	6年女子100mリレー

(6) 競技方法

- ・ タイムレースとする。
- ・ 出場する種目は、1人1種目とする。ただし小規模校に関しては1人2種目まで出場できる。
- ・ 5年学級対抗リレーについては各学級男子2名、女子2名出場を原則とする。
- ・ 6年リレーについては、小規模校に限り、異学年男女混合でも可とする。ただし、男子チーム扱いとする。
- ・ その他細部についてはえびの市小学校体育連盟による競技規則を適用する。

(7) 日程

- 1 開会式 9:00 ~ 9:10                      2 水慣れ 9:15 ~ 9:30  
 3 記録会 9:40 ~ 11:20                      4 閉会式 11:25 ~ 11:30

1	6年女子50m自由形	7	6年男子25m自由形	13	5年男子25m平泳ぎ
2	6年男子50m自由形	8	5年女子25m自由形	14	6年女子100mリレー
3	5年学級対抗リレー	9	5年男子25m自由形	15	6年男子100mリレー
4	6年女子50m平泳ぎ	10	6年女子25m平泳ぎ		
5	6年男子50m平泳ぎ	11	6年男子25m平泳ぎ		
6	6年女子25m自由形	12	5年女子25m平泳ぎ		

(8) 表彰

各個人種目、リレー種目3位まで入賞とする。

(9) 反省

- スムーズに大会の運営が行われた。しかし、帰校が遅くなった学校もあるため、もう少し工夫改善が必要である。

- 各学校よく練習しており、大会記録を更新したり、標準記録を突破したりする児童も多  
くいた。平泳ぎでの泳法違反者がいたので、各学校での指導の工夫等が必要である。

## 2 陸上大会

- (1) 大会名 平成29年度えびの市小学校体育連盟陸上大会  
 (2) 実施日 平成29年10月24日(火)  
 (3) 会場 えびの市立飯野小学校運動場  
 (4) 出場者 えびの市内小学校(5校) 5・6年生  
 (5) 実施種目

5年	6年
100m走	100m走
50mハードル走	50mハードル走
走り幅跳び	走り幅跳び
ソフトボール投げ	ソフトボール投げ
800m走(女子) 1000m(男子)	800m走(女子) 1000m(男子)
学級対抗リレー(100m×4)	学校対抗リレー(100m×4)

### (6) 競技方法

- ・ タイムレースとする。
- ・ 出場する種目は、1人1種目とする。ただし小規模校に関しては1人2種目まで出場できる。
- ・ 5年学級対抗リレーについては各学級男子2名、女子2名出場を原則とする。
- ・ 6年リレーについては、小規模校に限り、異学年男女混合でも可とする。ただし、男子チーム扱いとする。
- ・ その他細部についてはえびの市小学校体育連盟による競技規則を適用する。

### (7) 日程

- 1 開会式 9:00～ 9:10    2 記録会(午前の部) 9:15～11:40  
 3 昼食・休憩 11:40～12:40    4 記録会(午後の部) 12:45～13:45  
 5 閉会式 13:45～14:00

トラック競技				フィールド競技		
1	5年女子	100m走	一般・選抜	6年 男女	走り幅跳び	選抜
2	5年男子	100m走	一般・選抜			
3	5年男女	800m・1000m走	選抜			
4	6年男女	800m・1000m走	選抜	5年 男女	走り幅跳び	選抜
5	6年男子	100m走	一般・選抜			
6	6年女子	100m走	一般・選抜	6年 男女	ソフトボール投げ	選抜
7	5年女子	50mハードル走	一般・選抜			
8	5年男子	50mハードル走	一般・選抜			
昼食・休憩・交流(11:40～12:40)						
午後の競技 12:45～開始						
9	6年女子	50mハードル走	一般・選抜	5年 男女	ソフトボール投げ	選抜
10	6年男子	50mハードル走	一般・選抜			
11	5年男女	学級対抗リレー	選抜			
12	6年男女	学校対抗リレー	選抜			

### (8) 表彰

各個人種目、リレー種目3位まで入賞とする。

### (9) 反省

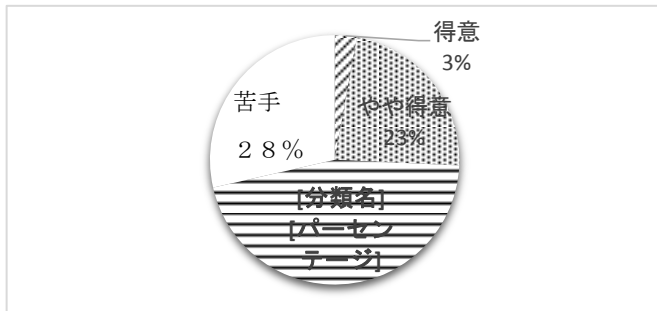
- 今年度から一般走の計時をしなかったことで、進行がスムーズになった。
- ハードル走については、学校差が見られた。各学校での指導の工夫改善等が今後の課題である。
- 競技開始までに時間がかかった。連携が必要な係同士の打ち合わせの時間を確保していくことで、スムーズに進行できるようにしていく。

### III 研究部のあゆみ

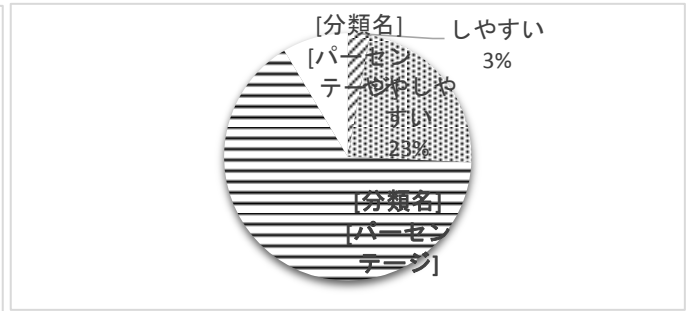
次年度以降の研究内容を器械運動領域（マット運動・跳び箱運動）とし、より効果的な指導の在り方を追究していくために、教師、児童対象にアンケートをとることとした。

#### （1）教師用アンケートの結果と考察

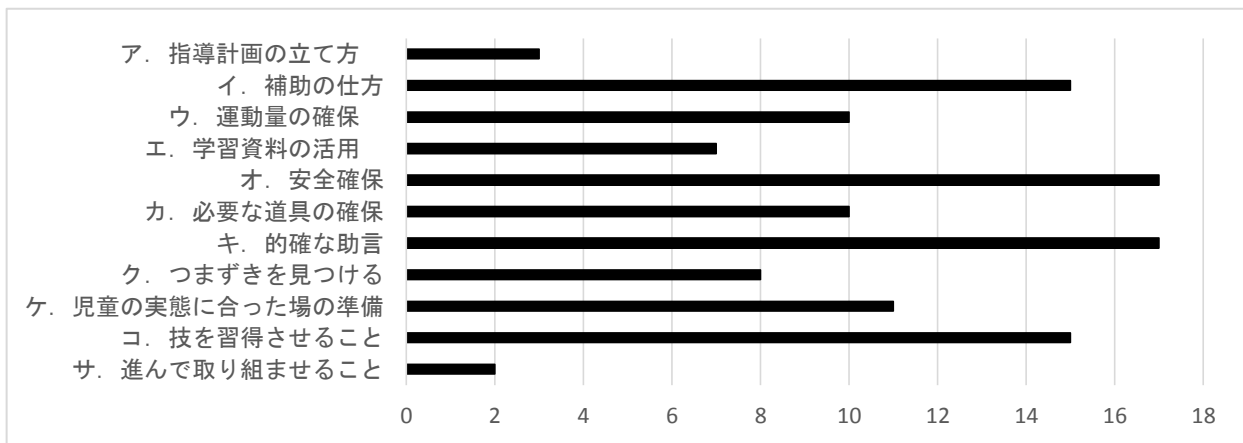
##### ①器械運動は得意ですか。



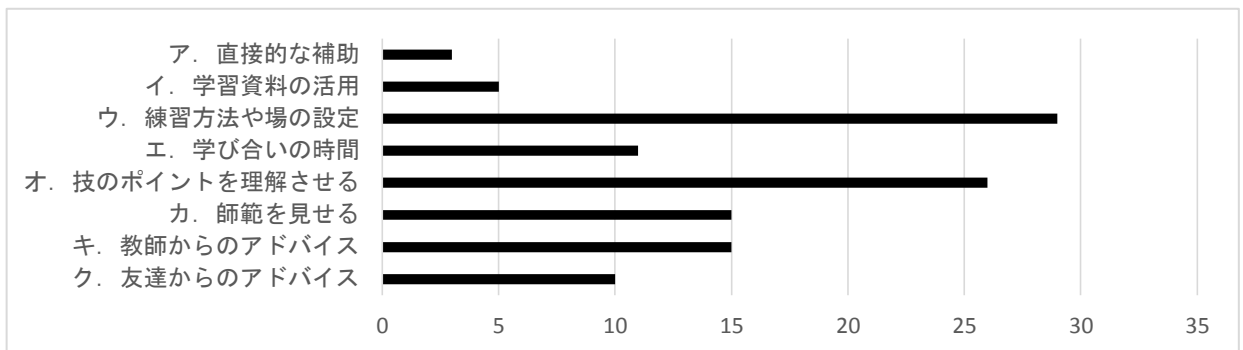
##### ②器械運動の指導はしやすいですか。



##### ③指導で難しいと感じるのはどのようなことですか。（複数回答可）



##### ④技能を高めるために必要だと思うポイントは何ですか。（複数回答可）



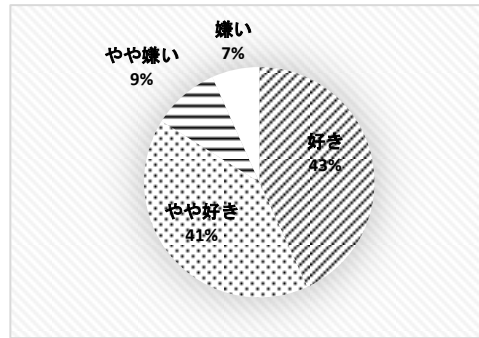
#### 〔考察〕

- 教師自身が器械運動を苦手としている割合が高く、それに比例して、器械運動の指導を困難に考えている割合が高くなっている。
- 指導で難しいと感じているところは、「的確な助言」と「安全確保」が第1位となっている。「的確な助言」については児童に技能を習得させるためのポイントを明確につかめていないことが予想される。また、「安全確保」が難しいために、積極的な指導が難しくなっているということも考えられる。
- 技能を高めるために必要なポイントについては、「練習方法や場の設定」「技のポイントの理解」が多い。上記の「技能を習得させるためのポイントを明確につかめていない」ことで、どのよう

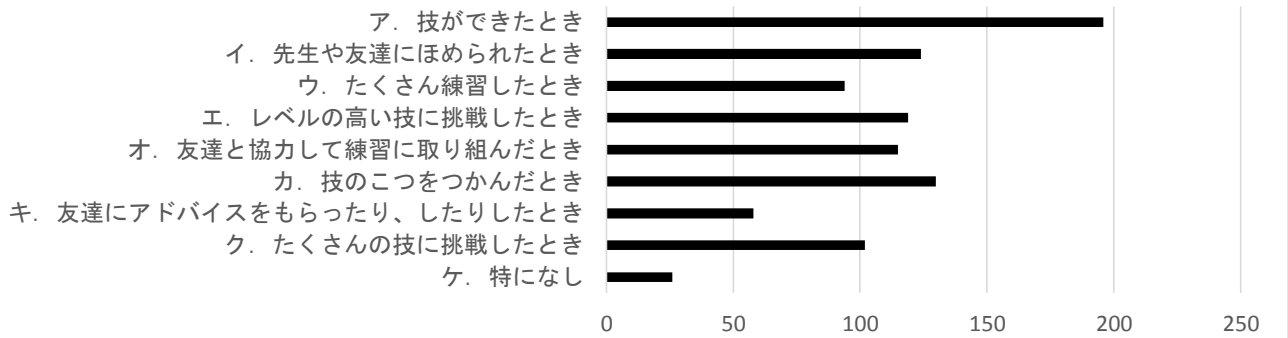
な練習方法や場を設定すれば良いのか、技の何を理解させればよいのかが不明確なまま授業を展開することになっており、さらに指導の苦手意識を高めていっているのではないだろうか。

## (2) 児童用アンケートの結果と考察

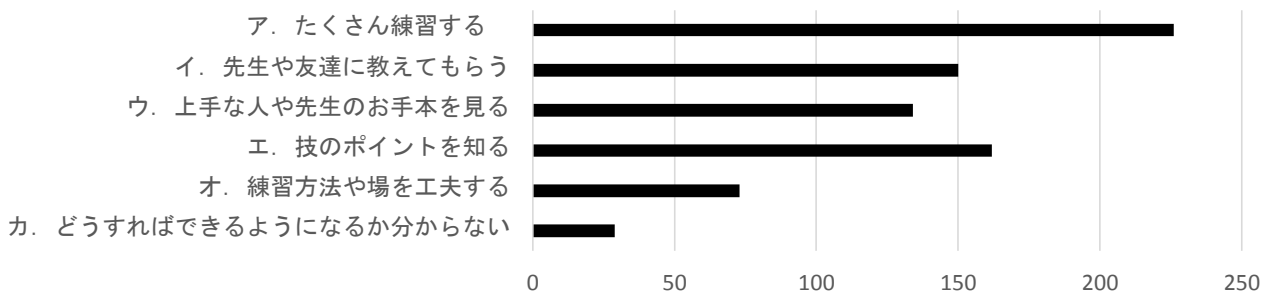
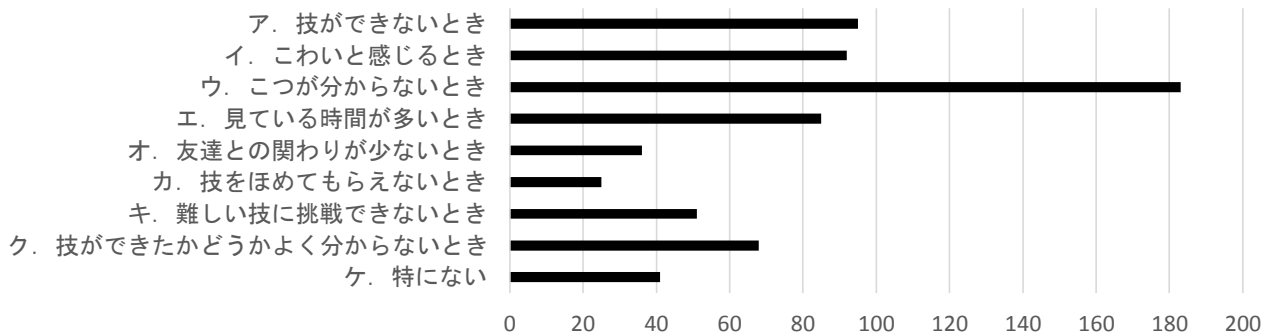
① 器械運動は好きですか。



② 器械運動のどんなときに楽しいと感じますか。



③ 器械運動（マット運動・とび箱運動）で、どんなときに楽しくないと感じますか。



④ どうすれば技ができるようになると思いますか。

[考察]

- 「たくさん練習する」以外では、「技のポイントを知る」ことが重要だと考える児童が多く、技ができるためにはコツを知ることが重要であることを児童自身が理解していることが分かる。

(3) 次年度の取り組みについて

- 教師については、技のポイントをしっかり把握したうえで指導を展開する。
- 児童については、技を主体的に獲得するための学習の展開を目指す。

(ICTの活用・・・タブレットや、NHK フォースクールの活用)